

【上田市版市民参加・公開型行政評価】

「市民による事業評価」

テーマ「青少年の育成」

事業概要シート

1	青少年育成推進指導員制度	1
2	少年補導委員	3
3	地域青少年育成指導者養成講座	5
4	子ども会育成連絡協議会	7
5	地域住民による学校支援事業	9
6	上田市スポーツ少年団活動補助金交付事業	11

平成 24 年度 「市民による事業評価」 事業概要シート		テーマ名	青少年の育成
事務事業名称	1 青少年育成推進指導員制度	部局名	教育委員会
		課所名	生涯学習課

1 事業の概要

事業の目的 (概要)	地域の青少年育成関係団体のパイプ役として、地域の大人が青少年育成について関心を持ち、課題を共有化することにより、青少年育成の気運を高めます。 (上田地域のみ)
対象者等 (誰・何を対象に)	市民(大人)、青少年育成関係団体
これまでの経過 事業の内容等	<p>①社会の急激な変化は、青少年を取り巻く環境や、行動にも大きな影響を与え、家庭、学校、地域社会がそれぞれの役割を果たし、連携を図りながら青少年育成に努めることが求められました。このような中、地域における育成力を強化し育成諸活動を活発化させるため、昭和60年に旧上田市で青少年育成推進指導員が制度化され、全自治会への配置が目標とされました。</p> <p>②平成13年度からは分館五役としても位置づけられており、公民館本館が地域事務局を担っています。</p> <p>③現在、上田市青少年育成推進指導員規則に基づき、157人(旧上田地域の各自治会1人)の方が教育委員会の委嘱を受けて活動しています。活動費として、年間12,500円の報酬が支払われています。</p> <p>④事業としては、各自治会において、保護者や青少年育成に係わる関係者を対象とした青少年育成自治会懇談会を年1回程度開催し、公民館単位で地区市民集会を年1~2回開催しています。本指導員はそのコーディネーター役などを担っています。</p> <p>⑤なお、真田地区には青少年健全育成推進員(現在35人)制度があり、自治会やPTA等と連携して青少年育成事業を行い、また、約半数が育成会役員を兼任しています。</p>
現状と今後の課題等	<p>①青少年育成推進指導員は旧上田市の制度であり、現在でも上田地域以外への広がりはありません。また、上田市以外の県下18市では、青少年育成推進指導員のように、自治会懇談会等の開催を主な任務とした委員制度がある市はありません。</p> <p>②地域の関係団体の連携を図る役割も期待されていますが、育成会やPTA役員と違い、単独で行動せざるを得ない状況があり、毎年交代する委員も多いことから、自治会懇談会等の開催以外、何をやったら良いかわからないという声もあります。</p> <p>③青少年育成について当事者意識が薄い大人が増加しており、地域社会の繋がりも希薄化していると言われています。今後、地域ぐるみで青少年育成活動を行うには、どのような方法が望ましいか検討する必要があります。</p> <p>④自治会には青少年育成関係団体として、PTA、育成会、少年補導委員等様々な関係組織があります。反面、人口の減少と少子高齢化を背景に、役員のなり手は減少しています。実効性を高めるための組織のあり方や、地域が青少年育成を推進する役割を担うためにはどのような方策が良いのか検討する必要があります。</p>

2 事業費

(単位：千円)

	全体 事業費	H21年度 決算額	H22年度 決算額	H23年度 決算額	H24年度 予算額
支出(直接経費) (A)	0	2,407	2,475	2,404	2,657
(内訳)					
青少年育成推進指導員報酬		1,950	1,950	1,963	1,963
講師謝礼(自治会懇談会等)		457	525	441	694
その他()					
収入	0	2,407	2,475	2,404	2,657
(内訳)					
国県支出金					
地方債					
その他(使用料、負担金等)					
一般財源		2,407	2,475	2,404	2,657
概算人件費 (B)	0	10,863	10,863	10,863	10,863
(人員)					
正規職員	-	0.05	0.05	0.05	0.05
嘱託職員	-	4.80	4.80	4.80	4.80
臨時職員	-	0.00	0.00	0.00	0.00
(内訳)					
正規職員 (6,100千円/人・年)	-	302	302	302	302
嘱託職員 (2,200千円/人・年)	-	10,561	10,561	10,561	10,561
臨時職員 (1,300千円/人・年)	-	0	0	0	0
事業コスト合計 (A+B)	0	13,270	13,338	13,267	13,520

3 事業の効果をj得るための活動計画・実績

概要	自治会懇談会、地区市民集会の参加者			
指標名	区分	H21年度	H22年度	H23年度
自治会懇談会開催自治会	計画			
	実績	154	152	154
自治会懇談会参加者数	計画			
	実績	6,071	5,746	5,799
地区市民集会参加者	計画			
	実績	1,658	2,270	2,270

4 その他

市が実施する類似事業	該当なし
備考	

平成 24 年度 「市民による事業評価」 事業概要シート		テーマ名	青少年の育成
事務事業名称	2 少年補導委員	部局名	教育委員会
		課所名	生涯学習課

1 事業の概要

事業の目的 (概要)	各地域で巡回活動等を行うことにより、青少年の非行予防、健全育成活動を行います。
対象者等 (誰・何を対象に)	青少年、店舗
これまでの経過 事業の内容等	<p>①昭和20年代から、地域における少年の非行防止に関係する機関、団体、民間有志等が参加し、諸活動を総合的に実践するための拠点として少年補導センターの設置が全国的に始まり、旧上田市では昭和43年に少年育成センターが設置されました。現在、事務局は生涯学習課に置かれています。</p> <p>②少年育成センター規則に基づき、教育委員会が委嘱しています。平成20年度から市内全地域の組織となりました。</p> <p>③現在は243人(自治会選出199人、学校選出44人)の方が、少年補導委員会を組織し、46班(27地区)により活動しています。なお、自治会選出委員には補導活動1回につき2,350円の報酬を支給しています。</p> <p>④主な事業は下記のとおりです。 ・定期補導(月1回/地区内を巡回し補導活動を行う。) ・一日補導(年2回/青少年育成への地域の関心を高めるため、自治会役員等とともに巡回活動を行う。) ・環境チェック活動(年3回/店舗に対し、自主規制項目等を守るよう依頼するとともに、改善点を文書又は口頭で依頼する。)</p>
現状と今後の課題等	<p>①補導人数の推移では、平成16年頃までは、年間300人を超えていましたが、近年では10~20人程度となっています。</p> <p>②少年補導委員による活動は、少年の補導だけが目的ではなく「声かけ」により非行を未然に防止する活動や、環境の浄化、登下校時の安全確保、危険箇所のチェック、他団体との連携など様々な活動があり、これらにより安全安心の地域づくりに貢献していると思われます。</p> <p>③有害自販機撤去についても、補導委員をはじめ地域の皆さんの力で取り組んでおり、平成20年までは30数台あった自販機が、現在は4箇所10台となっています。</p> <p>④少子化や情報化といった社会の変化によって、仲間とともに外で遊ぶ子どもの姿が見えなくなっています。街頭補導活動でも、以前に比べて出会う子どもの数は減少しています。しかし、インターネット等を含めて社会環境は浄化の傾向にはなっておらず、こうした実状を踏まえ、より効果的な補導活動を展開していくためにはどうあるべきか検討する必要があります。</p> <p>⑤市街地と山間部では、子どもたちを取り巻く環境が異なることから、活動内容にも違いがあります。他組織との役割分担や連携のあり方も含め、地域の実状にあった、今後の活動のあり方がどうあるべきか検討する必要があります。</p>

2 事業費

(単位：千円)

	全体 事業費	H21年度 決算額	H22年度 決算額	H23年度 決算額	H24年度 予算額
支出(直接経費) (A)	0	7,312	7,246	6,592	8,260
(内訳)					
少年補導委員報酬		6,472	6,049	5,927	7,112
印刷製本費		245	337	300	502
その他(その他需用費等)		595	860	365	646
収入	0	7,312	7,246	6,592	8,260
(内訳)					
国県支出金					
地方債					
その他(使用料、負担金等)					
一般財源		7,312	7,246	6,592	8,260
概算人件費 (B)	0	3,725	3,725	3,725	3,644
(人員)					
正規職員	-	0.25	0.25	0.25	0.20
嘱託職員	-	1.00	1.00	1.00	1.10
臨時職員	-	0.00	0.00	0.00	0.00
(内訳)					
正規職員 (6,100千円/人・年)	-	1,525	1,525	1,525	1,223
嘱託職員 (2,200千円/人・年)	-	2,200	2,200	2,200	2,421
臨時職員 (1,300千円/人・年)	-	0	0	0	0
事業コスト合計 (A+B)	0	11,037	10,971	10,317	11,904

3 事業の効果を得るための活動計画・実績

概要	定期補導活動の参加者等			
指標名	区分	H21年度	H22年度	H23年度
定期補導参加者数(回数)	計画			
	実績	2,095 (554)	2,079 (560)	1,964 (543)
一日補導活動参加者数(協力者数)	計画			
	実績	274 (225)	249 (179)	248 (174)
環境チェック活動参加者数(チェック件数)	計画			
	実績	516 (1,116)	492 (1,207)	450 (1,035)

4 その他

市が実施する類似事業	市の委嘱ではありませんが、類似する組織として、防犯指導員や少年警察ボランティアなどがあります。
備考	県内では安曇野市以外の18市に青少年補導センターがあり、内16市に青少年補導委員会があります。

平成 24 年度 「市民による事業評価」 事業概要シート		テーマ名	青少年の育成
事務事業名称	3 地域青少年育成指導者養成講座	部局名	教育委員会
		課所名	生涯学習課

1 事業の概要

事業の目的 (概要)	子どもたちの自然体験活動を指導できる人材を養成し、地域において体験活動の推進を図ります。
対象者等 (誰・何を対象に)	市民 (大人)
これまでの経過 事業の内容等	<p>①平成21年度から自然体験活動を指導できる人材を養成し、地域において子どもたちを対象とした体験活動の推進を図るため、教育委員会主催で講座を開始しました。</p> <p>②平成24年度は、NPO法人「やまぼうし自然学校」へ事業委託し、全5回(1. 青竹クーヘン作り、2. 自然観察、3. 安全講習、4. 登山、5. キャンプ実習)の講座を開催し、延57人の参加者がありました。</p> <p>③今年度受講生のうち10名をリーダーズバンクに登録しました。今後、各育成会や学校からの要請を受けて、指導者の派遣を行う予定です。</p>
現状と今後の 課題等	<p>①青少年期は身体的な成長とともに、多くの人や社会、自然などと直接ふれあう様々な体験のなかで試行錯誤を繰り返しながら、自立した社会人の基礎となる「生きる力」の育成を図っていく時期です。</p> <p>②かつては、そのような体験の機会を日常的に得ることができましたが、子どもたちを取り巻く環境の変化が進む中、現代ではそのような機会そのものが減ってきています。</p> <p>③ゲームやネットによる疑似体験が増える中、五感を活用しての体験的な活動は、子どもたちの思考を活性化させ、学ぶことの喜びや意欲を生み出すことに繋がっていきます。自然体験活動はこうした感覚を総動員できる可能性があります。各種調査結果では都市化の進展等とともに減少傾向にあります。</p> <p>④野外での体験活動の機会や参加が減少していると同時に、親世代が自然体験等の経験不足から、子どもへの指導が不可能になりつつあります。このような課題を克服するため、地域と行政の施策はどうあるべきか検討する必要があります。</p>

2 事業費

(単位：千円)

	全体 事業費	H21年度 決算額	H22年度 決算額	H23年度 決算額	H24年度 予算額
支出 (直接経費) (A)	0	101	108	73	120
(内訳)					
講師謝礼		48	30	40	0
委託料		0	0	0	120
その他 (消耗品費等)		53	78	33	0
収入	0	101	108	73	120
(内訳)					
国県支出金					
地方債					
その他 (使用料、負担金等)					
一般財源		101	108	73	120
概算人件費 (B)	0	605	605	605	605
(人員)					
正規職員	-	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託職員	-	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時職員	-	0.00	0.00	0.00	0.00
(内訳)					
正規職員 (6,100千円 /人・年)	-	605	605	605	605
嘱託職員 (2,200千円 /人・年)	-	0	0	0	0
臨時職員 (1,300千円 /人・年)	-	0	0	0	0
事業コスト合計 (A+B)	0	706	713	678	725

3 事業の効果を得るための活動計画・実績

概要	講座参加者数				
	指 標 名	区分	H21年度	H22年度	H23年度
講座回数		計画			
		実績	4	5	4
延べ参加者数		計画			
		実績	67	62	36
		計画			
		実績			

4 その他

市が実施する 類似事業	社会教育機関である公民館等でも、青少年や親子を対象とした体験学習事業等が実施されています。
備 考	

平成 24 年度 「市民による事業評価」 事業概要シート		テーマ名	青少年の育成
事務事業名称	4 子ども会育成連絡協議会	部局名	教育委員会
		課所名	生涯学習課

1 事業の概要

事業の目的 (概要)	子ども会育成会の連合組織として、各育成会事業へ支援を行い、活動の活性化を図っています。
対象者等 (誰・何を対象に)	単位子ども会育成会
これまでの経過 事業の内容等	<p>①多様化していく社会の中で、次代を担う子どもたちを健やかに育てるためには、地域住民一体となって健全育成に取り組む必要があり、旧上田市では、昭和38年馬場町に育成会が結成されて以来、全自治会への育成会結成が推進されてきました。</p> <p>②自治会内における位置づけは様々であり、半数以上の育成会では、PTAや分館等の役員が育成会役員を兼任しています。また、予算的には大半の育成会が自治会や分館から補助を受けて活動しています。</p> <p>③市内子ども会育成会の集合組織として「協議会」があり、平成20年度から市内全地域の組織となりました。事務局は生涯学習課、及び丸子・真田・武石の各地域教育事務所に置かれています。</p> <p>④協議会には現在、178の子ども会育成会が加入し、各育成会への配分金の交付、子ども会安全共済会関係事務、共同事業の実施等の支援を行い、活動の活性化を図っています。</p> <p>⑤協議会へ加入している育成会活動支援のため、市から子ども会育成連絡協議会へ補助金が交付されています。 ※子ども会…中学生程度までの子どもたちが、活動を通し地域社会の一員としてのルールやマナーを学ぶ子どもの集団。 ※育成会…子ども会活動を支援・助言する地域の大人の組織。</p>
現状と今後の課題等	<p>①各単位子ども会育成会では、伝統行事や清掃活動、スポーツ大会、地域の特色を生かした体験活動事業等、PTAや公民館分館とも連携し、様々な活動を行っています。</p> <p>②地区によっては、少子化や子どもの自由な時間が少ない等の理由で、活動に参加する子どもが減少しているという声も聞かれます。また、会員数の減少により、平成22年度以降5育成会が活動を休止しています。</p> <p>③社会情勢の変化により子どもたちを取り巻く環境は著しく変化し、実際の生活体験や自然体験が現在の子どもたちには不足しています。また、家庭環境による体験格差も拡大しています。</p> <p>④地域社会との繋がりが希薄になり、子育て家庭の社会的孤立といった状態も広がっています。</p> <p>⑤子ども会育成連絡協議会では、配分金等と併せ、共同事業の実施や体験活動支援事業補助金により、単位育成会に特色ある体験活動を広げる取り組みを行っています。</p> <p>⑥今後、子どもたちに対して、家庭や学校ではできない様々な体験をさらに広げていくためには、地域においてどのような仕組みづくりが必要なのか、検討していく必要があります。</p>

2 事業費

(単位：千円)

	全体 事業費	H21年度 決算額	H22年度 決算額	H23年度 決算額	H24年度 予算額
支出(直接経費) (A)	0	4,342	4,276	4,298	4,452
(内訳) 子ども会育成連絡協議会補助金		4,342	4,276	4,298	4,452
(内訳) その他()					
収入	0	4,342	4,276	4,298	4,452
(内訳) 国県支出金					
(内訳) 地方債					
(内訳) その他(使用料、負担金等)					
(内訳) 一般財源		4,342	4,276	4,298	4,452
概算人件費 (B)	0	4,336	4,336	4,336	4,313
(人員) 正規職員	-	0.35	0.35	0.35	0.40
(人員) 嘱託職員	-	1.00	1.00	1.00	0.85
(人員) 臨時職員	-	0.00	0.00	0.00	0.00
(内訳) 正規職員 (6,100千円/人・年)	-	2,136	2,136	2,136	2,442
(内訳) 嘱託職員 (2,200千円/人・年)	-	2,200	2,200	2,200	1,871
(内訳) 臨時職員 (1,300千円/人・年)	-	0	0	0	0
事業コスト合計 (A+B)	0	8,678	8,612	8,634	8,765

3 事業の効果を得るための活動計画・実績

概要	加入育成会数等			
指標名	区分	H21年度	H22年度	H23年度
加入育成会数(団体)	計画			
	実績	181	178	179
安全共済会入会者数(人)	計画			
	実績	14,514	14,202	14,156
共同事業参加者数(人)	計画			
	実績	310	113	398

4 その他

市が実施する類似事業	社会教育機関である公民館等でも、青少年や親子を対象とした体験学習事業等が実施されています。
備考	県内19市全てに子ども会育成会があり、内17市に子ども会育成連絡協議会等があります。

平成 24 年度 「市民による事業評価」 事業概要シート	テーマ名	青少年の育成
事務事業名称 5 地域住民による学校支援事業	部局名	教育委員会
	課所名	生涯学習課

1 事業の概要

事業の目的 (概要)	学校を地域に開き、地域の教育力を導入することにより、地域ぐるみで子どもを育もうとするもので、学校教育の充実、地域の教育力の向上及び生涯学習の成果を生かすことを通じた生涯学習社会の充実を図るものです。		
対象者等 (誰・何を対象に)	地域住民による小・中学校（児童・生徒）に対する支援		
これまでの経過 事業の内容等	<p>① 地域全体で学校を支援する体制をつくるため、国が全額負担する委託事業として「学校支援地域本部事業」が平成20年度から平成22年度までの予定でスタートし、上田市においては、中学校と公民館のエリアが重なる塩田中学校において事業を実施することとなり、委託期間が終了した23年度からは市の単独事業として事業を継続しています。</p> <p>② 文部科学省の「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の推進の取り組み」に係る委託事業の委託を平成21年度に受け、浦里小学校において2年間の調査研究を行い、平成23年4月1日、浦里小学校を学校運営協議会の設置校に指定しました。 ※ コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域住民がともに知恵を出し合い、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みであり、保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会が設けられ、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べるといった取組が行われます。</p> <p>③ 上田市における現在の地域住民による学校支援の状況は次のとおりとなっています。（詳細は別に資料を作成の上、当日配布予定）</p>		
		学校名	支援内容
	西部地域	第三中学校	公民館講座「花と庭づくり教室」受講生による環境整備支援
	城南地域	南小学校	読み聞かせボランティアによる読書活動支援【試行】
	塩田地域	塩田中学校	「しおだっ子応援団」による学習支援、環境整備（花壇づくり等）、学校行事支援
	川西地域	浦里小学校	学校運営協議会を核として、17の「お助け隊」による登下校の見守り、学習支援、環境整備などの支援
	真田地域	長小学校	公民館主催の通学合宿に併せ、大学生ボランティアが学習支援【試行】
	武石地域	武石小学校	地域教育ボランティアサポート員による、体の不自由な児童の学習支援等
	④ その他、各学校において、地域講師を招いてのクラブ活動、福祉ボランティア活動、地域の先輩に学ぶ、郷土の文化を学ぶ活動などが行われています。		
現状と今後の課題等	<p>① 青少年育成活動として学校と地域を隔てることなく、地域の大人たちが学校の中でボランティアで子どもたちの学校生活の支援活動を行う事例が、近年広まっています。</p> <p>② 学校を支援するボランティア活動について、何をどこまでやるのか、学校教育との調整が必要になっています。</p> <p>③ 特別に支援が必要な児童生徒のための支援ボランティアや学習支援ボランティアの確保のほか、支援が長期にわたると、ボランティアが減少する傾向となることから、その継続性の確保も課題となっています。</p> <p>④ 公民館が学校支援ボランティア活動のコーディネーター役を担う事例も増えていますが、コーディネーターの確保・育成が課題となっています。</p> <p>⑤ 地域住民による学校支援を更に多くの学校・地域へ、いかに広げていくかが課題となっています。</p>		

2 事業費

(単位：千円)

	全体 事業費	H21年度 決算額	H22年度 決算額	H23年度 決算額	H24年度 予算額
支出(直接経費) (A)	0	561	916	233	548
(内訳)					
報酬、謝金		349	456	39	193
旅費		0	29	64	80
消耗品費		132	207	100	245
印刷製本費		1	127	0	0
その他(通信運搬費、保険料等)		79	97	30	30
収入	0	561	916	233	548
(内訳)					
国県支出金		561	667	0	0
地方債		0	0	0	0
その他(使用料、負担金等)		0	249	0	100
一般財源		0	0	233	448
概算人件費 (B)	0	2,703	2,726	2,617	2,638
(人員)					
正規職員	-	0.30	0.34	0.34	0.32
嘱託職員	-	0.40	0.30	0.25	0.30
臨時職員	-	0.00	0.00	0.00	0.00
(内訳)					
正規職員 (6,100千円/人・年)	-	1,824	2,067	2,067	1,982
嘱託職員 (2,200千円/人・年)	-	879	659	550	656
臨時職員 (1,300千円/人・年)	-	0	0	0	0
事業コスト合計 (A+B)	0	3,264	3,642	2,850	3,186

3 事業の効果を得るための活動計画・実績

概要	さまざまな形で学校支援に携わるボランティア参加者数				
	指標名	区分	H21年度	H22年度	H23年度
ボランティア参加者数(延べ人数)		計画			
		実績	1,185	3,546	3,540
		計画			
		実績			
		計画			
		実績			

4 その他

市が実施する類似事業	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校支援ボランティア(特別な配慮が必要な小学校低学年の児童を対象) ② 学校サポーターバンク
備考	

平成 24 年度 「市民による事業評価」 事業概要シート	テーマ名	青少年の育成
事務事業名称 6 上田市スポーツ少年団活動補助金交付事業	部局名	教育委員会
	課所名	スポーツ推進課

1 事業の概要

事業の目的 (概要)	上田市スポーツ少年団の活動費を補助するため、上田市体育協会を通して交付するものです。
対象者等 (誰・何を対象に)	上田市スポーツ少年団の活動に対して年205万円を補助します。
これまでの経過 事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和61年から上田市スポーツ少年団補助金交付要領に基づき、補助金を交付している事業です。 ・日本スポーツ少年団は昭和37年に日本体育協会創立50周年の記念事業として「一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを」「スポーツを通じて青少年の心と体を育てる組織を地域社会の中に」を願いに創設されました。 ・上田市においては、昭和56年に上田市スポーツ少年団の前身である上田市少年スポーツ教室（上田市教育委員会主催）がスタートし、その後、上田市体育協会が主体となり、昭和61年に上田市スポーツ少年団が設立されました。
現状と今後の 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・上田市スポーツ少年団は44団、27種目、団員数2,214名の子どもたちが活発にスポーツ活動を行っています。（平成23年8月31日現在） ・スポーツ少年団の本来の活動の中心は、子どもたちの健全育成とスポーツに親しむ子どもを育てる、地域交流、世代交流等ですが、現在は、単一種目による競技志向の強いものとなってきている傾向があります。 このため、スポーツ少年団は次の事項を検討する時期となっていると考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> ①子どもたちのニーズに応える組織であるか ②地域社会から期待され青少年の健全育成に貢献する組織であるか ③競技志向だけでなくスポーツの楽しさや素晴らしさを再認識させているか

2 事業費

(単位：千円)

	全体 事業費	H21年度 決算額	H22年度 決算額	H23年度 決算額	H24年度 予算額
支出(直接経費) (A)	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050
(内訳) 上田市スポーツ少年団活動補助金	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050
その他()					
収入	0	2,050	2,050	2,050	2,050
(内訳) 国県支出金					
地方債					
その他(使用料、負担金等)					
一般財源		2,050	2,050	2,050	2,050
概算人件費 (B)	0	13	13	13	13
(人員) 正規職員	-	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託職員	-	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時職員	-	0.00	0.00	0.00	0.00
(内訳) 正規職員 (6,100千円/人・年)	-	13	13	13	13
嘱託職員 (2,200千円/人・年)	-	0	0	0	0
臨時職員 (1,300千円/人・年)	-	0	0	0	0
事業コスト合計 (A+B)	2,050	2,063	2,063	2,063	2,063

3 事業の効果を得るための活動計画・実績

概要	上田市スポーツ少年団			
指標名	区分	H21年度	H22年度	H23年度
上田市スポーツ少年団	団数	42	42	44
	団員数	2,412	2,284	2,214
	団数			
	団員数			
	団数			
	団員数			

4 その他

市が実施する類似事業	真田少年スポーツ教室(10種、14教室) (野球、卓球、サッカー、硬式テニス、ミニバスケット、水泳、バレーボール、剣道、柔道、マラソン)
備考	